資料２－１

Press Release
記者発表資料

きらっと☆とよかわっ！
愛知県 豊川市

平成 29 年 10 月 16 日

豊川市政記者クラブ加盟社　各位

豊川子ども調査の集計結果について

豊川市では、本年２月に、子育てに関する市民のニーズや子どもの生活実態を把握するための実態調査を行いました。このたび、その結果が取りまとまりましたので、下記のとおり公表いたします。

記

１　調査の概要

別紙のとおり。

２　調査の結果

別冊「豊川子ども調査【調査結果（概要版）】」のとおり。

３　子どもの貧困率等

＊子どもの貧困率※

豊川市	全国平均	愛知県	東三河南部
5.2%	13.9%	5.9%	7.5%

※　子どもの貧困率・・・子ども全体に占める、等価可処分所得※が貧困線※に満たない子どもの割合。
※　等価可処分所得・・・世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得。
※　貧困線　　・・・等価可処分所得の中央値の半分の額。国民生活基礎調査の結果、平成 27 年は 122 万円。

＊市民一人当たりの手取り額から独自に算出した貧困線（137.5 万円）による子どもの貧困率

豊川市
7.2%

（県独自の貧困線 137.5 万円による割合）

愛知県	東三河南部
9.0%	10.5%

＊「現在の暮らし向き」が「苦しい」（「大変苦しい」「やや苦しい」）と回答した割合

小１	小５	中２
30.9%	28.4%	37.6%

TOYOKAWA

＊無料学習塾への参加意向

小１	小５	中２
66.9%	64.2%	59.9%

＊子ども食堂への参加意向

小１	小５	中２
31.5%	29.2%	27.3%

※　上記割合は、いずれも貧困層だけでなく、回答者全体の集計割合です。

４　愛知県の調査結果との比較

愛知県全体の結果と豊川市の結果を比較したところ、特筆すべき差異はありませんでした。

５　調査結果を踏まえて

・　調査結果をさらに詳細に分析し、庁内の関係各課とも情報を共有しながら課題を抽出し、今後の豊川市における子どもの健全育成や、保護者の子育てを支援する施策の検討を進めていきます。

・　愛知県が、先月発表した「子どもが輝く未来に向けた提言」において、「提言で取り上げる子どもや保護者に関わる事業には、市町村が実施主体となる事業もある。県内のすべての市町村が、この提言に沿ってそれぞれの地域の子ども・子育て支援体制を強化されることを期待する。」とされている。そのため、愛知県の分析結果や提言も十分に斟酌しながら、今後の施策を検討していきます。

【お問合せ先】
豊川市役所 子ども健康部 子育て支援課　清水・垣内
TEL:0533-89-2133
Ｅメール：kosodateshien@city.toyokawa.lg.jp

別紙

「豊川子ども調査」の概要

1　目的

子育てに関する市民のニーズや子どもの生活実態を把握するための実態調査を行い、実効性のある子どもの貧困対策を行うための基礎資料を得ることを目的とする。また、「愛知子ども調査」と質問項目を共通としたまま、対象者数を拡大して実施することにより、より正確な基礎資料を得ることを目的とする。

2　調査期間

愛知県：平成 28 年 12 月 7 日（水）～12 月 20 日（火）
豊川市：平成 29 年　2 月 7 日（火）～ 2 月 20 日（月）

3　調査対象者

愛知県：調査対象学年の 10%程度の子どもとその保護者となるよう、調査対象クラスを無作為抽出した小・中学校の子どもとその保護者
豊川市：愛知県の調査対象外の小学校の１年１組、５年１組及び中学校の２年１組並びに２年２組全クラスの子どもとその保護者

4　調査票の配付及び回収

愛知県：学校を通じて配付し、回収は学校又は郵送方式
豊川市：学校を通じて配付し、回収は郵送方式

5　回収状況

		小学１年生 保護者のみ	小学５年生 児童＋保護者	中学２年生 生徒＋保護者	計
学校数		26	26	10	62
	愛知県	7	6	5	18
	豊川市	19	20	5	44
クラス数		26	26	20	72
	愛知県	7	6	5	18
	豊川市	19	20	15	54
配付数		717	780	733	2,230
	愛知県	188	176	180	544
	豊川市	529	604	553	1,686
有効回収数		501	489	436	1,426
	愛知県	140	111	149	400
	豊川市	361	378	287	1,026
回収率		69.9%	62.7%	59.5%	63.9%
	愛知県	74.5%	63.1%	82.8%	73.5%
	豊川市	68.2%	62.6%	51.9%	60.9%

６　質問項目

「愛知子ども調査」の保護者票の問２「市区町村」の部分を「中学校区」とし、その他はすべて「愛知子ども調査」と共通とする。

「豊川子ども調査」の質問項目について

	子ども票	保護者票
基礎項目	・性別（問1）	・回答者（問1） ・中学校区（問2）
子どもの状況	・放課後の居場所（問10） ・携帯・パソコン等の使用時間（問11） ・子どもの状況（問21～24）	・子どもの預け先（問15）【小１のみ】 ・就学前の状況（問3、4）【小１のみ】 ・子どもの様子（問12） ・塾・習い事の状況（問8）
子どもの教育	・学校生活（問16、18） ・勉強することの価値（問17） ・家庭学習（問19） ・理想とする学歴（問20）	・子どもの理想とする学歴（問9） ・教育資金の貯蓄状況（問10）
保護者の状況		・保護者の状況（問5） ・就労状況（問28～37） ・学歴（問20）、15歳の頃の暮らし向き（問21、22） ・育児の気持ち（問13）【小1のみ】
家庭	・食事の摂取状況（問8） ・家での手伝い（問12） ・保護者との関係（問14、15）	・家族構成（問38、39） ・子どもとの関係（問11） ・保護者の出勤・帰宅時間（問31、36）
経済状況	・物質的な豊かさ（問9）	・物質的、相対的な豊かさ（問6、7） ・現在の暮らし向き（問23、24） ・収入（問40～42）、支出（問43～49） ・困窮経験、困窮時の対応（問25～27）
健康	・健康状態（問2） ・身長・体重（問3）、虫歯の数（問6） ・就寝時間（問4）、生活習慣（問5） ・医療の状況　（問7）	・健康状態（問16、17） ・医療の状況（問18、19）
地域との関係	・地域との関わり（問13）	・地域との関わり（問14） ・福祉施策の利用状況（問50～55）

※1　子ども票の問25、保護者票の問56は、自由記述です。
※2　保護者票の問番号は、小学1年生保護者用の調査票の番号となります。（小学5年生及び中学2年生では、質問数が異なる関係で、問番号にずれが生じます。）